

チリの柑橘類事情(レモン)

米国農務省GAINレポート 2023年6月2日

これは米国農務省海外農業局サンチャゴ事務所(チリ)が作成した「柑橘類半期報告書」の要点及びレモンの項を訳したものであり、米国政府の公式見解及びデータとは異なる場合があります。

レポートの要点

海外農業局サンチャゴ事務所は、良好な気象条件を踏まえ、2022/23年度のレモンの生産量を26.4%増の合計17万2千トンと推定する。レモンの輸出量は、生産量の増加と貨物運賃の低下により33.9%増加し、7万5千トンに達すると見られる。同様に、2022/23年度のオレンジ生産量は6.1%増の17万4千トン、輸出量は4.7%増の9万トンと見込まれる。2022/23年度のマンダリンの生産量は、収量の増加と新しい果樹園の成園化により、26.5%増の21万5千トンと見込まれる。マンダリンの輸出量は18万トンと見込まれる。チリは2023年3月に、レモン、クレメンタイン、マンダリンについて、臭化メチル燻蒸に代えて検査システムを強化することでメキシコへの市場アクセスを獲得した。(以下、レモン(貿易統計上レモンと同一のライムを含む)以外の記述は省略しました。)

<レモン(生鮮)>

表1 レモンとライムの生産需給統計

レモン/ライム(生鮮) 販売年度 チリ	2020/2021		2021/2022		2022/2023	
	2021年4月～翌年3月		2022年4月～翌年3月		2023年4月～翌年3月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
栽培面積	7,340	7,340	8,040	8,040	8,500	8,080
収穫面積	7,100	7,100	8,000	8,000	8,300	8,000
結果樹本数	0	0	0	0	0	0
未結果樹本数	0	0	0	0	0	0
果樹本数合計	0	0	0	0	0	0
生産量	200	200	140	136	200	172
輸入量	13	13	15	15	12	12
総供給量	213	213	155	151	212	184
輸出量	102	102	60	56	100	75
生鮮国内消費量	100	100	86	86	101	98
加工仕向量	11	11	9	9	11	11
総仕向量	213	213	155	151	212	184

単位: ヘクタール、千本、千トン

出典: 当事務所推計

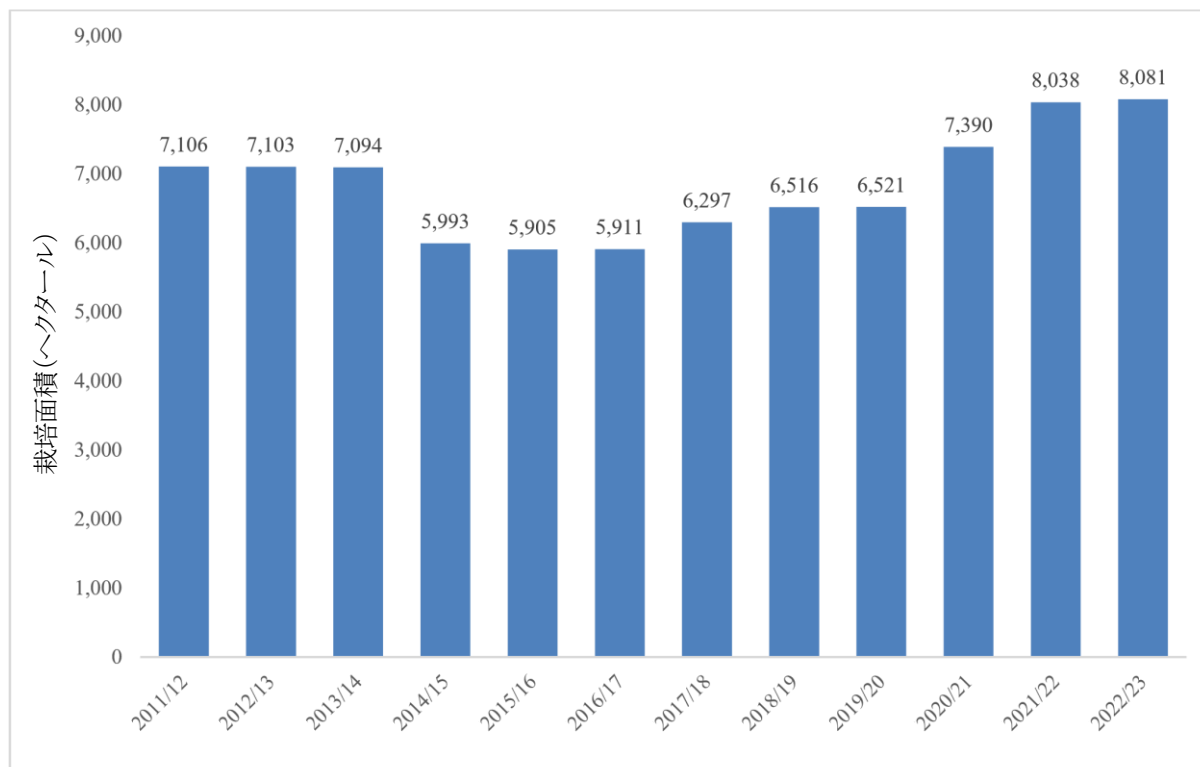
生産

当事務所は、2022/23年度のレモンの生産量を26.4%増の17万2千トンと推定する(表1)。当事務所の情報提供者によると、コキンボ州の良好な気象条件と水供給量の増加によりレモンの収量が増え、総生産量が増加した。コキンボ州には1,628ヘクタールのレモン園があり、これはチリのレモン栽培面積の20.3%に相当する。

2022/23年度の総栽培面積は8,080ヘクタールで、2021/22年度に比べて0.5%増加した。これは、過去3販売年度に見られた栽培面積の増加率の減速を意味する(図1)。コキンボ、バルパライソ、メロポリターナの各州では、生食用ブドウ等の他の作物では低価格のために生産者の収益が減少する中、レモンは収益性の高い代替品となっており、レモンの生産量と輸出量が急増した。チリの中央部にあるメロポリターナ州は、レモン栽培面積の41.1%を占め、最大の産地となっている。

チリでは、レモンの販売年度は収穫の開始時期に当たる4月に始まる。輸出の大部分は毎年6月から9月の間に行われ、各販売年度の状況に応じて7月または8月に最盛期となる。

図1 レモンの栽培面積(ヘクタール)



出典：ODEPA, 2023

消費

レモンの国内消費は、12月から3月までの夏季にピークに達する。チリの冬に当たる6月から9月の間は国内消費が減少し、レモン生産量のほとんどは輸出市場に向かう。当事務所は、2022/23年度の生鮮国内消費量を、生産量の増加に伴い14%増の9万8千トンと推定する。レモンの加工仕向量は、2021/22年度に比べて22.2%増の1万1千トンに達すると見られる。加工業界では、果汁、エッセンシャルオイル、菓子用濃縮果汁の製造にレモンを使用する。

貿易

当事務所は、2022/23年度のレモン輸出量を、生産量の増加と貨物運賃の低下に伴い、33.9%増の7万5千トンと推定する。2021/22年度には、輸出業者からの高い需要と輸送用コンテナの供給の逼迫により運賃が大幅に増加し、輸出量と輸出収益が減少した。2021/22年度には、降霜による生産量の減少と運賃の高騰により、レモンの輸出量は44.9%減の5万6千トンとなった。

米国はチリ産レモンの最大の市場である。チリは2021/22年度に総輸出量の55.5%に相当する3万1,222トンのレモンを米国に輸出した(表2)。チリはまた、日本、中国、韓国等にもレモンを輸出した。

チリは2021/22年度に、生産量の9.0%に相当する1万2,267トンのレモンを輸入した。チリは、ペルー、ブラジル、コロンビア、米国からレモンを輸入している(表3)。従来から、最大の輸入先はチリに近いペルーである。チリでは夏の間レモンの需要が高く価格が高いため、輸入が必要となる。

政策

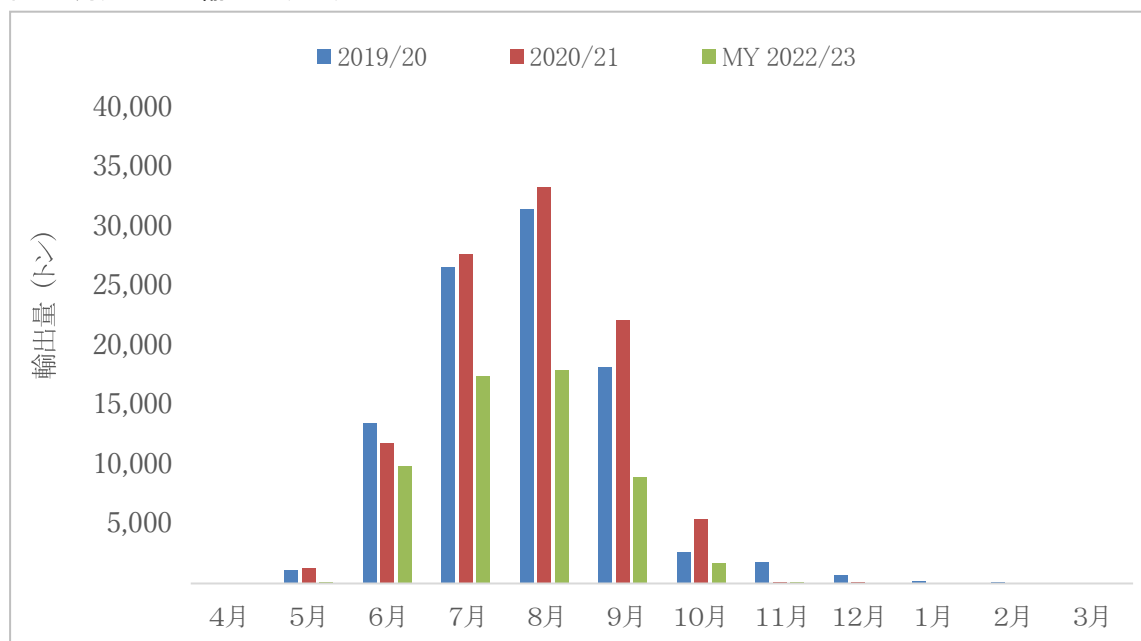
チリは2023年3月に、強化された検査システムによるメキシコのレモン市場へのアクセスを獲得し、これにより臭化メチル燻蒸を回避することができる。チリの輸出業者らによると、臭化メチルは日持ちを悪くするため、それを避けることにより品質の高い果実をメキシコ市場に供給することができる。また、チリの輸出業者は輸出市場を増やすことができる。

表2 レモンとライムの輸出量(トン)

輸出先国	品目: 080550、レモン及びライム、生鮮または乾燥			
	販売年度			
	2019/20(トン)	2020/21(トン)	2021/22(トン)	変化率(%)
世界	96,606	101,996	56,217	-44.9%
米国	54,458	65,682	31,222	-52.5%
日本	18,705	17,056	15,578	-8.7%
韓国	5,343	4,999	4,423	-11.5%
中国	5,657	6,532	1,558	-76.1%
デンマーク	821	962	1,434	49.1%
オランダ	4,575	4,630	901	-80.5%
スペイン	966	858	689	-19.7%
イタリア	1,298	617	209	-66.1%
コロンビア	88	54	58	7.4%
ドミニカ共和国	30	56	54	-3.6%
パナマ	40	49	39	-20.4%
カナダ	70	95	12	-87.4%
ドイツ	74	173	0	-100.0%
フィンランド	0	115	0	-100.0%
ブラジル	389	47	0	-100.0%
その他	4,092	71	40	-43.7%

出典: Trade Data Monitor, LLC

図2 月別レモン輸出量(トン)



出典: Trade Data Monitor, LLC

表3 レモンとライムの輸入量(トン)

輸入先国	品目: 080550、レモン及びライム、生鮮または乾燥			
	販売年度			
	2019/20(トン)	2020/21(トン)	2021/22(トン)	変化率(%)
世界	11,356	12,703	12,267	-3.4%
ペルー	8,027	10,350	8,567	-17.2%
ブラジル	0	202	3,057	1,413.4%
コロンビア	2,204	1,827	500	-72.6%
米国	1,116	324	142	-56.2%

出典: Trade Data Monitor, LLC